

地域協議会だより

発行日 令和4年1月25日
発行人 清里区地域協議会
会長 古澤文夫
第65号
編集委員 堀川 敏子
松永 誠一

新年の「挨拶」

会長 古澤 文夫

清里区地域協議会を代表して謹んで新年のお慶びを申し上げます。

地域協議会では、市からの諮問事項や地域課題の自主的審議事項の協議、また、地域活動支援事業の審査などを行っています。

自主的審議事項である中間地域の振興として「空き家対策」に取り組み、結果として「家族への安心ノート」を作成し、全戸に配布することができました。大いに活用していただきたいと思います。

また、地域活動支援事業については、9件を採択し予算どおり有効に活用することができました。

今年も皆様から大いに御意見をいただき、清里区発展のため委員一同積極的に取り組んでいく所存です。今年一年が皆様にとりまして良い年でありますよう心からお祈り申し上げます。



板倉区・清里区・牧区・中郷区地域協議会委員合同研修会

活動報告

板倉区・清里区・牧区・中郷区
地域協議会委員合同研修会

とき 12月10日(金)
会場 ハートピア中郷

★講演

○演題 「フルサットではじめたフルサットの話」

〳上越妙高駅開業7周年とそれからに向けて〳

○講師

北信越地域資源開発研究所
平原 匡 氏

○講演内容

「フルサット」のオープンに至るまでの経緯や現状、これからの展望について説明がありました。

コロナ禍で人々の外出が減り大変な時期であるが、フルサットを上越妙高エリアの「シヨールーム」と位置付け、多くの人に上越地域の魅力を発信するとともに、自分達がこの地域を愛し、住み続けられる街づくりの実現に向けて行動していきたいと力強く語られました。

★研修会に参加して

山川 正平

昨年は、コロナ禍で中止になった地域協議会委員の合同研修会（板倉区・清里区・牧区・中郷区）が開催されました。

各区の代表者から、地域課題と取組についての発表がありました。板倉区では、三部会を作り各種団体と意見交換し、地域課題を整理されました。清里区は、空き家対策として全戸に「家族への安心ノート」を配布したことの



発表でした。牧区では、地域活動支援事業の審査基準を見直し、総合的に判断し補助金を決定していました。中郷区では、これまで地域資源を核として活性化を図ってきたが、特定財源が結末を迎え新たな課題に取り組んでおられました。

講演では、上越妙高駅前のももない所に等身大の商店街（フルサット）を作った苦労話を聞くことができました。地域資源を大切にし、何事も小さく生んで大きく育てることが肝要であると学びました。

竹田 恵理子

4区地域協議会委員合同研修会が中郷区で開催され、各区からの自主的審議事項や課題についての発表がありました。どこの区も人口減少により様々な問題を抱えています。いかに地域の財産を守り、地域住民が安心して、いつまでも住み続けたいかなるようなまちづくりをしたらよいか、真剣に考えて取り組まれている

ました。

講師のお話の中で、ゼロから立ち上げたフルサットの取組をお聞きし、資源をつなぐ取組や地域資源によるまちおこしは大切だと感じました。研修を通じて、幅広い世代の方々との情報交換や他の地域との情報の共有を図り、様々な視点から考えていきたいと思いました。



松永 誠一

地域協議会委員二年目にして初の参加である。清里、牧、板倉、中郷の4区は互いが近隣地域で、成り立ちや環境等が共通している部分もあるためか、取り組んでいる課題・事業も類似のものが多く、これを改めて知った。

しかしながら、類似の課題や事業でも発想や視点の違いで展開が多様になることにも気づかされた研修であった。そして、これからの地域協

議会活動の在り方、進め方を考えるとき、従来の方法論にプラスして、SDGs（持続可能な開発目標）の視点を加えた取組が必要となるのではないかとこの感想を持った。

第8回地域協議会

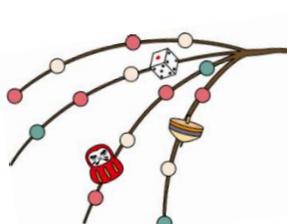
【11月25日（木）】

★報告事項

○令和3年度冬期道路交通確保計画について

○家族への安心ノートについて

家族への安心ノートは清里区内の世帯に1冊ずつ配布しましたが、追加を希望される方は清里区総合事務所へお問い合わせください。



編集雑感

堀川 敏子

新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着き、二年ぶりに4区地域協議会委員合同研修会が開催され、地域協議会の活動報告で各区の特徴が確認されました。

しかし、今またオミクロン株の感染拡大が新たな話題となっており、今後は新しい生活様式を徹底し活動することが、共通の課題かと思えます。今回の講演を聴きながら、ウイルスの変異は我々人類に「地球は人間だけのものではない。生きとし生けるものが互いにその命を尊重して生きなさい」「その土地々々の環境や歴史文化に学んだ生き方をしなさい」と突きつけている様に感じてしまいました。この研修会を通して、4区での地域協議会はこの投げかけに十分に応えていると思いたいのです。